

## 第 66 回道小教育研究渡島・北斗大会について 西田 浩人 研究指名理事

渡島小中学校長会では「北斗大会」の開催に向け、令和 4 年 5 月に準備委員会を立ち上げ、旭川大会の引き継ぎを受けた 10 月からは渡島・北斗大会実行委員会として準備を進めているところである。

本日は、研究大会の概要と進捗状況について説明させていただく。協議のほど、よろしくお願ひ申し上げる。では、研修部資料 24 頁をご覧ください。

渡島・北斗大会の 1 次案内のもとになるものである。大会のキャッチフレーズ及びシンボルマークを設定していない。

北斗大会でキャッチフレーズやシンボルマークを設けないことにした理由は、開催地は北斗市であるが渡島全体で大会運営にあたることから、納得のいくキャッチフレーズを決定するまでに相当の時間を費やすこと、With コロナを意識しコンパクトでスリムな大会運営を目指していること、などがある。

コンパクトでありながらも 道小役員・道小研修部の皆様をはじめ、全道から参集される会員の皆様のご理解とご協力をいただき、インパクトのある北斗大会にしたいと考え、準備を進めているところである。

今年度の第 65 回旭川大会は、参集開催の準備を万全に進めながら、目前にして感染拡大により 1 日日程のハイブリッド開催となった。来年度の北斗大会では 2 日間日程の参集開催を前提に、リモート機能を部分的に活用する大会にできないだろうかと考えている。

記念講演については、講師に卓球東京五輪代表で金メダリストの水谷 隼 選手の母、水谷万記子 氏をお招きする。現時点では演題は未定だが、水谷選手の少年時代からのエピソードを交え、母として、卓球の指導者として、我が子とどのように関わってきたのか、才能を开花させるために大切にしたことや、金メダリストの母親が学校教育に期待することなど、多岐に渡って存分に語っていただきたいと考えている。

全体会場は、いさりび鉄道「清川口駅」から徒歩 2 分程度の「北斗市総合文化センターかなでーる」としている。平成 25 年度 第 58 回道小渡島大会でも全体会場として利用した施設であるが、函館市からのアクセスは、いさりび鉄道や路線バスしかないため、函館駅前からのシャトルバスを運行する予定である。新幹線函館北斗駅周辺のホテルに宿泊される方も多と思うので、函館北斗駅前からのシャトルバスを計画している。全体会場となる総合文化センターには大型の駐車場があるので、役員をはじめ、出席される会員の皆様も駐車可能である。自家用車でも安心してお越しいただけると考えている。

北斗市には、分科会の会場を用意できるホテルがないため、9 会場 11 分科会は、すべて公共の施設を利用する。全体会場とは違って、各分科会の会場には駐車場が完備されていない会場があるため、移動は全てシャトルバスの利用とさせていただく。また、11 の分科会会場では土足が認められていない会場があるなど、不便をおかけすることも予想される。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

また、渡島・北斗大会でも感染症への対応が必要になると考え、準備を進めている。受付時の検温や消毒はもとより、全大会では一定の距離をとる座席配置を検討している。シャトルバスでは相席になるなど密になることも心配されるが、バス業者と協議し換気を徹底していきたい。何より感染の拡大が収まることを皆様と共に願いながら、渡島・北斗大会の準備を進めてまいりたい。令和5年9月に全道の皆様とお会いできることを楽しみにしている。